2　地理歴史・公民

学校番号	１００９

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	「高校倫理」　（実教出版）						
副教材等	４ステージ演習ノート　改訂版　倫理						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・良識ある公民としての考え方を身につける。
・「自分ならどう考える」の視点を持つ。
・他者の考え方（特に反対意見）を知った上で、自分の考えを構築する。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、倫理的思考力を培う。
・現代の諸課題を古代～現代の思想と結び付け、現代的アプローチから考察することができる。
・自分の価値観や感じることを他者と共有しあう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界や日本の思想に対する関心と自発的に意欲的に追究するとともに、青年期の自分の問題にも向き合う。	世界や日本の思想を内容や公民的観点から考察し、自分と他人の意見を公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界や日本に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	基本的な事柄を基礎に、良識的公民や青年期の人格形成に関連してその知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート ノート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト ノート
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 発表会での発表内容	〔主題学習〕 調べ発表プリント	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4～5月	青年期の課題と自己形成	・青年期の意義 ・青年期の課題	○ ○	○ ○		 ○	a:青年期の意義と課題に対する関心を高めようとしている。他者と共に生きる自分の生き方について考える。 b:自分の体験をもとに青年期の意義と課題を考える。と同時に、広い視野たって自己形成の探究をする c:青年期の意義と課題に関する資料を収集・選択して自己形成に活用する。 d:青年期の課題が、人生観・世界観・価値観の形成である。そのための知識として身につける。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト
	人間としての自覚	・ギリシア思想 ・ﾍﾚﾆｽﾞﾑ時代の思想 ・古代ユダヤ教 ・キリスト教 ・イスラム ・仏教 ・中国思想	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:人生における哲学・宗教の持つ意義にたいする関心と生き方の探究。 b:各哲学・宗教の考え方を手がかりに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:各哲学・宗教の特質について理解し、その知識を自己確立の課題と関連づけて身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト
	日本人としての自覚	・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想	○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○	a:日本の風土や伝統など日本人の人間観・自然観・宗教観の持つ意義にたいする関心と生き方の探究。 b:古典や生活習慣を手がかりに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、国際社会に生きる日本人のあり方にもふれる。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:日本の風土や伝統、外来思想の受容と吸収及び、日本人の特質について理解し、その知識を自己確立の課題と関連づけて身に付けている。	定期考査 ワークシート ノート 小テスト

6月～7月	西洋思想の受容と展開	・啓蒙思想と自由民権運動 ・キリスト教の受容 ・国家主義の台頭と社会主義 ・近代的自我の確立 ・近代日本哲学の成立と超国家主義 ・伝統の自覚と新たな課題	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	a:日本の風土や伝統など日本人の人間観・自然観・宗教観の持つ意義にたいする関心と生き方の探究。 b:古典や生活習慣を手がかりに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、国際社会に生きる日本人のあり方にもふれる。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:日本の風土や伝統、外来思想の受容と吸収及び、日本人の特質について理解し、その知識を自己確立の課題と関連づけて身に付けている。	定期考査 レポート 振り返りシート ノート ワークシート
	現代に生きる人間の倫理	・ルネサンス ・宗教改革 ・モラリスト ・近代の自然観 ・経験論と合理論 ・社会契約説 ・カント ・ヘーゲル ・功利主義 ・社会の進歩と改善 ・社会主義 ・実存主義		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代人間が直面する課題に、倫理的視点から他者と共に生きる追求する。 b:ルネサンスから現代に至る西洋思想・宗教を多面的にとらえる。倫理的にとらえ、他者と共に生きる自分との関わりを考える。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ルネサンス～現代に至る西洋思想を自己の生き方とからめて学習し、人格の形成に生かす知識として身についている。	定期考査 レポート 振り返りシート

8～9月		・心理学 ・現代思想 ・非暴力 ・正義と福祉 ・社会のなかの人間	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:現代人間が直面する課題に、倫理的視点から他者と共に生きる追求する。 b:・思想を多面的にとらえる。倫理的にとらえ、他者と共に生きる自分との関わりを考える。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:現代に至る思想を自己の生き方とからめて学習し、参加や自己実現とからめながら人格の形成に生かす知識として身についている。	定期考査 小テスト ワークシート ノート
	現代の諸課題と倫理	・生命の倫理 ・環境の倫理 ・家族の倫理 ・地域社会の課題 ・高度経済社会の課題 ・文化と宗教の課題 ・国際平和と人類の福祉の課題	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:現代の諸課題を、倫理的な視点基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、自己との関わりという観点から考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、インターネットなどを駆使して自己との関わりの観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。自己の課題とつなげて理解する。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。